

2015 年 7 月 1 日配信 / 2015-No.2

教員と学生が相互啓発しながら 知的に成長するアクティブ・ラーニング

～起業家を交えビジネスプランの作成を学ぶ～

太成学院大学では、従来のような教員が知識の伝達・注入を中心とする授業ではなく、教員と学生が意思疎通を図りつつ、共に切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく学修を本学のアクティブ・ラーニングと位置づけて実施している。

①学外でのフィールドワーク授業 ②キャンパス内の野外施設での授業 ③全学生に無償配布している iPad mini・iPod touch を活用した授業、などの形態でアクティブ・ラーニングに積極的に取り組んでいる。例えば韓国語（金栄俊准教授担当）の授業では、キャンパス内にあるキャンプ場でチヂミ料理を作りながら、韓国語会話を習得する授業を展開したり、iPad のアプリを活用してプレゼンテーションする授業などを実施している。

今回 7 月 3 日（金）に経営学部のビジネスプランニング論（釣島平三郎教授担当）の授業で、大阪府富田林市寺内町の宿泊施設「泊や」を教材にしたフィールドワーク授業を行うことを企画している。

「泊や」は寺内町初の宿泊施設として 2015 年 4 月に開業した。南河内出身のオーナー 泊野千香代さんは、郷土の文化を理解してもらうためには歴史的に有名な寺内町に宿泊施設が必要だと考え、その準備のためにカナダの B&B (Bed & Breakfast) を訪問、京都祇園の料理旅館で実務を習得するため 3 年間働くなど準備を重ねてきた。その後、大阪地域創造ファンド南河内（釣島平三郎選定委員長）にビジネスプランを提出した。そのビジネスプランが高く評価され、ファンドから受けた約 350 万円の助成金を開業資金に充てることができた。さらなる助成金も期待できる素晴らしいビジネスプランである。

今回の授業では、このプランを作成し起業したご本人から生の話を聞くことで、学生たちの将来への糧になることが期待できる。受講した学生にはレポートなどの提出が義務づけられており、学修効果が上がることにも期待されている。



【富田林じないまち ご婦人乃宿 泊や (Tomari-ya)】

【お問い合わせ】

太成学院大学 経営学部 教授 釣島平三郎

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 1060-1

TEL 072-362-3731 / FAX 072-362-0598 / URL <http://www.tgu.ac.jp>

〈本件発信部署・取材等に関するお問い合わせ〉

太成学院大学 入試課 担当：川越 [E-mail: public@tgu.ac.jp]

TEL 072-362-3732 / FAX 072-362-0598 /

本学のニュースやイベントを掲載した学内報 Pillar of Wisdom を本学ホームページに掲載しております。取材用資料としてぜひご活用ください。(<http://www.tgu.ac.jp/schoolinfo/school-report.php>)

